



ポーランド

ヴロツワフ経済大学 (WUE)

Wroclaw University of Economics and Business

ヴロツワフ経済大学ホームページ <http://www.ue.wroc.pl/>

期 間

翌年9月～翌々年2月までの約5か月間、または7月までの約10か月間

滞在形態

寮（またはアパート）

留学費用

総額 約60万円～170万円
ただし、為替レート、生活の仕方による個人差などにより、実際にはかなりの幅があります。

★受入機関・都市の概要

ポーランド西部に位置するヴロツワフは、ポーランドで4番目に大きな都市です。カラフルな旧市街など、散策を楽しめる街並みとなっています。大学内は交換留学生の数が非常に多いため、交換留学生のサポートをする学生団体などもあり、受入体制が充実しています。

★留学概要について

交換留学生向けの英語開講科目や、現地の学生向けの英語開講科目と一緒に受講するスタイルです。ヨーロッパ内外の様々な国からの留学生がいるため、英語開講科目も充実しています。ヴロツワフ経済大学で開講されている通常の科目を英語で受講するには、かなりの英語力が必要となります。また、留学生向けのポーランド語の授業も受講できます。日本語を教えている日本人講師がいるので、日本語を学ぶ現地学生と交流する機会もあります。授業のない時などは、近隣の国へ足を伸ばすことも可能です。学外では主な言語はポーランド語ですので、ポーランドに興味があり、非英語圏の文化を体験したい方に向いています。



わたしの留学体験記

2019年度
交換留学
出発時
3年生

留学先
ポーランド
ヴロツワフ経済大学 (WUE)

経済学部

木村 勇斗

私は、2019年9月から5ヶ月間、ポーランドのヴロツワフ経済大学に留学していました。ここでは、これから異国の地へ一歩踏み出す皆さんへ微力ながらアドバイスや、私自身の学びを綴っていきます。まず、留学と聞くと、「日本では決して味わえない生活や文化」などに心を踊らす人も多いと思います。しかし、留学先に着いた直後、必ず初めに立ちかかるのは「言語の壁」です。もちろん、壁の高さは個人の英語力によって変わりますが、言語の壁に当たらない人はまずいないかと思います。

私はポーランドへの出国前、周りの学生に比べ、行動力と英語力には自信があったので、「実際、英語での会話に困ることはないだろう」と高を括っていました。しかし、そんな自信は初日で木っ端微塵に砕かれました。一対一で相手と話す分には良いのですが、ネイティブレベルの英語話者に囲まれると会話の速さについていけず、特に、若者独特の略語やスラングは、机上の勉強だけでは対応し切れませんでした。そんなことを考えずにポーランドへ降り立った私は、「今まで勉強してきた英語はなんだったのだろう」と考えて落ち込んだり、会話の輪の中にいても自分がどこか蚊帳の外にいるような、そんな孤独感に苛まれたりすることが、何度もありました。そして間もなく、私は「病み期スパイラル」に突入しました。英語を使って世界中の人と意思疎通を図りたい、そんなワクワクした気持ちから始まった留学生活はたった1週間で閉幕。勇気を出して英語を話した後、「What?」と返されることに恐怖を感じていたことは今でも覚えています。しかしそんなとき、イタリア人のルームメイトから、こんな言葉をかけてもらいました。

「留学に来たばかりだ。悩む時期もたくさんあるかもしれないけれど、それさえも楽しんだ方がいいよ。だって、悩んでも楽しんでも時間の流れは変わらないだろう?」

この言葉を聞いたとき、その通りだと思いました。どうせ時間を使うのであれば楽しんだ方がいいに決まっている。そんなことを忘れていた私は、一体何を考えていたのだろうと目が覚めた瞬間でした。それからは、無限に湧いてくる新たな英語の表現や、周りの学生の積極的な学びの姿勢に驚きの連続でしたが、【言語を学ぶ楽しさ】を忘れずに、諦めずにくいついていこうと考えられるようになりました。

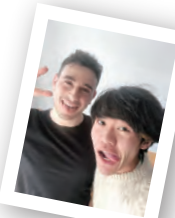
その後は、講義内のグループワークで積極的に発言することももちろんのこと、経済の専門的な講義が多く理解が追いつかない場合が多々あったので、ほぼ毎回講義後に先生に質問しに行きました。ヨーロッパの学生よりも英語力が劣っていることを理解してくれただうで、どの先生も優しく丁寧に質問に答えてくださいました。さらに、ボランティアで行っていた大学内日本語クラスのアシスタントの活動を通して、「日本語を学ぶポーランド人」10人ほどと友達になることができました。

会話は英語ベースで、日本語とポーランド語を教え合うという貴重な言語学習時間を増やすことができただけでなく、休日にご飯やバー、ボウリングやビリヤードに行くなど、何より毎日が格段に楽しくなりました。

また、旅先ではゲストハウスで必ず友達を作り、翌日一緒に旅行をしたこともありました。帰国2週間前からは、楽しい毎日に終止符を打つ現実を受け入れられず、寮で泣いたのを覚えています。

「悩む時期は誰にだってある。悩んだって楽しんだって、時の流れは一緒なのだから、楽しんだ方がいい。」こう割り切るようになってからは、本当にあっという間に時は過ぎ、気が付けば友達も増え、英語力も向上し、忘れられない思い出も増えました。

留学生活は、好むと好まざるとにかかわらず、過ぎて行きます。「終わってみれば、全て経験」それなら悩む時期すらも楽しんだ方が、得だと実感しました。留学生活から得た経験や考えは、すべてをここでは書くことは出来ませんが、一番大切な物事の捉え方を、この留学から学びました。



ベトナム

ダナン外国語大学 (UFLS)

University of Foreign Language Studies,
The University of Da Nang

ダナン外国語大学ホームページ <https://ufl.udn.vn/eng/>

期 間

翌年8月～1月までの約5か月間、または翌々年6月までの約10か月間

滞在形態

アパート

留学費用

総額 約40万円～150万円
ただし、為替レート、生活の仕方による個人差などにより、実際にはかなりの幅があります。

★受入機関・都市の概要

ダナンはベトナム中部にある海沿いの都市です。最近では綺麗なビーチのあるリゾート地としても知られています。近年、ダナンの経済は堅調な高水準を維持しており、生活水準の改善、インフラ開発、都市の景観の変化が著しく、ダイナミックな経済成長を感じることが出来ます。

★留学概要について

ダナン外国語大学の国際学部 (The Faculty of International Studies) の英語で行われている授業を一般学生と一緒に受講するスタイルです。日本語学科で日本語を学ぶ学生との交流もできます。学外ではベトナム語が主なので、アジア圏で長期滞在をしてみたい方、新興国の成長を肌で感じたい方、自ら進んで何か行動を起こしたい方に向いています。



わたしの留学体験記

2019年度
交換留学
出発時
3年生

留学先
ベトナム
ダナン外国語大学 (UFLS)

経済学部

新井 彬泰

今回のベトナム留学は、5ヶ月間という短い期間でしたが、大変有意義に過ごすことができました。

まず、この留学は、語学留学として英語を勉強したいと思っている人には向きません。というのも、みなさんご存知の通り、ベトナムの公用語は英語ではないからです。英語を本気で勉強したい人は、英語圏への留学をおすすめします。とはいえ、ダナンには英語圏の人もビーチ周辺にたくさん住んでおり、彼らが集まるお店もたくさんあるので、自分次第で、英語にたくさん触れることはできます。大学での英語の授業では、ネイティブの先生はいなかったのですが、授業にはあまり期待しない方が良いでしょう。大学生活の中で一番良かった点は、ダナン外国語大学の日本語学科の生徒に対して色々手伝ってあげたり、交流をしたりして、人脈を広げられたことでした。

そんな僕のベトナム留学の目的は、海外インターンシップです。その中でも、僕はWEB開発に興味を持っていました。日本でそれを独学で学ぶよりも、本格的に長期間、実践的に学ぶにはどうすればいいかと考えた時に、たまたま良い条件のインターンシップをベトナムで見つけ、採用していただきました。このインターンシップを通じて本当にたくさんの事を学び、素晴らしい経験をさせていただきました。

次に、ベトナムでの生活です。ベトナムで生活をする上で素晴らしい点の1つは、生活費の圧倒的な安さです。例えば、食費は月1万円以下（1食

100円弱）です。とはいえ、ベトナムのローカル店以外だと、一気に値段が日本と大して変わってしまいます。ベトナムのローカルフードは、どれも自分の口にはあって美味しかったです。

ベトナムの人は積極的で話しやすく、みんなオープンなのでストレスフリーでした。（神経質、きれいな好きの方には、ベトナム留学はあまりお勧めしません。）

また、日本とベトナムの関係は深いので、暮らしやすかったです。日本語を勉強してる人も多くいるので、友達になれるのも良い点だと思います。ベトナム人のコミュニケーションツールは、Facebookです。ベトナム人は積極的なので、日本人みたいにためらうことなく、たくさん友達申請ができます。かなりたくさんの友達ができるので、これらの人脈を活用して、ビジネスチャンスにもつながられるのも良い点だと思います。

ベトナムは近年人口がますます増加し、その人件費の安さからこれから第二の中国になると言われているほど世界的に重要な国になると思います。そういった意味で、ベトナムに留学をする価値はあると思います！

